

平成20年8月11日

各 位

上場会社名 澁谷工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 澁谷 弘利
 (コード番号 6340)
 問合せ先責任者 常務取締役社長室長兼経理本部長 吉道 義明
 (TEL 076-262-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年2月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位: 百万円)

平成20年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成19年7月1日～平成20年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,000	1,860	1,980	780	28.86
今回発表予想(B)	53,232	1,948	1,703	303	11.34
増減額(B-A)	△767	88	△276	△476	――
増減率(%)	△1.4	4.8	△14.0	△61.1	――
(ご参考)前期実績 (平成19年6月期)	50,766	2,553	2,614	1,405	53.29

平成20年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成19年7月1日～平成20年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,000	1,850	2,200	1,100	40.70
今回発表予想(B)	43,297	1,408	1,378	260	9.73
増減額(B-A)	△702	△441	△821	△839	――
増減率(%)	△1.6	△23.9	△37.3	△76.3	――
(ご参考)前期実績 (平成19年6月期)	42,928	1,566	1,831	1,025	38.88

修正の理由

<連 結>

連結の売上高は、パッケージングプラント事業において、今期納入と見込んでいた大型プラントが客先工場の建設遅れなどで来期へずれ込んだことから、53,232百万円と前回予想に比べ1.4%減少しました。

利益面では、子会社の業績が順調に推移したことから、営業利益は1,948百万円と前回予想に比べ4.8%増加いたしました。しかしながら、営業外費用にたな卸資産評価損170百万円、たな卸資産処分損55百万円などを計上した結果、経常利益は1,703百万円と前回予想に比べ14.0%の減少となりました。また特別損失に投資有価証券評価損528百万円などを計上し、かつ同評価損を含む税務上の有税扱いに対する繰延税金資産の計上が当期末時点で見込めないものが生じ法人税等調整額の負担が高まったことから、当期純利益は303百万円と前回予想に比べ61.1%の大幅減少となりました。

<個 別>

個別の売上高は、連結と同様の理由により43,297百万円と前回予想に比べ1.6%減少しました。

利益面では、コスト削減に努めたものの、原油価格などの高騰による調達資材の価格上昇を補いきれず、営業利益は1,408百万円と前回予想に比べ23.9%減少しました。また、営業外費用にたな卸資産評価損150百万円、たな卸資産処分損36百万円などを計上した結果、経常利益は1,378百万円と前回予想に比べ37.3%の減少となりました。さらに特別損失に投資有価証券評価損430百万円などを計上し、かつ連結と同様の理由により法人税等調整額の負担が高まったことから、当期純利益は260百万円と前回予想に比べ76.3%の大幅な減少となりました。

以 上